平成29年12月

志登茂

（野村元三重大学長筆）

第52号

志登茂会発行

======= 目　　次 =======

特別寄稿　三重大学雑感・今後の発展に向けて

（三重大学理事（総務・財務・基金担当）事務局長　尾藤広幸）… １～３頁

志登茂会の会長の３年目（志登茂会会長　寺西　清）…… ４～５頁

近況報告　（大西真二）…… ６頁

近況報告　（葛西　勇）…… ７頁

近況報告　（北山繁樹）…… ８頁

近況報告　（栗田敏幸）…… ９頁

志登茂会に入会して　（東川正朗）…… １０頁

平成２９年度総会・懇親会報告 …… １１～１９頁

（経過報告、予算決算、役員改選、会則、写真）

昼食会と「神楽洞夢」でのプラネタリウム鑑賞（報告）…… ２０～２３頁

事務連絡・編集後記 …… ２４頁

※　表紙の写真

三重大学上浜キャンパス　ドローンによる航空写真

（平成２９年５月撮影）

三重大学雑感・今後の発展に向けて

三重大学　理事（総務・財務・基金担当）・事務局長
尾　藤　広　幸

昨年（平成２８年）の４月に前任地の岩手大学から三重大学にまいりました。

私は岐阜県の出身で、三重県が同じ東海地方、お隣の県であり、またこれまでも何度か旅行等で足を運んだこともありますので、少しではありますがなじみのある県でもあります。三重は、海の幸、伊勢エビや松阪牛といった美味しい食べ物がたくさんありますが、若いころ賢島方面の友人の家に泊まったときに、家族の方がその日に船で穫ってきた魚の刺身をいただき、とても美味しかったことの記憶が未だに残っています。そして今回、三重県に初めて住んで驚いたのが、食べ物にもまして、数多くの美味しい日本酒があるということでした。前任地の岩手もたくさんの種類の日本酒が多くありましたが、それよりももっと美味しく、たくさんあるのではないかと感じています。時々ではありますが、飲みに行ったときは、美味しい新鮮な海の幸を肴に、種類も量もつい行き過ぎてしまいがちなので、少し我慢して抑えながら嗜むようにしています。

最初の大学の勤務は豊橋技術科学大学でしたが、私が採用されたころは新設されて間もないころでしたので、上司・先輩である職員の方々は、東海地方を中心に各大学等から出向されてきていました。私の最初の上司であった係長は三重大学から来られていた方で、いろいろ御指導いただき、たいへんお世話になったことが印象に残っていますし、また、若い職員が毎年多く採用されていた時期でしたので、とても活気のある職場、大学であった事が思い出され、そのような時の経験等が現在の自分の原点のひとつとしてあるのではないかと思っています。

文部省・文部科学省では高等教育局の技術教育課・専門教育課等に在籍し、工学系学部や農学系学部をはじめ大学関係の担当をしていましたので，三重大学の工学部や生物資源学部の関係でもいろいろお世話になったかと思います。これまでに多くの国立大学に出張等で訪問させていただきましたが、意外にも三重大学のキャンパスを訪れたことはありませんでした。三重大学のキャンパスは、三翠の名のとおり木の緑、空の青さ、目の前に広がる伊勢湾、そして明るい太陽がとても印象的なキャンパスだと感じており、ときどき昼休みなどにあまり人がいないところも含め歩いたりもしていますが、そうするとこれまであまり気付かなかった自然の木々や施設の様子、建物の状態など、新たな発見もみることができ、仕事を進める上でのヒントになったりもしています。

さて、国立大学が法人化されて現在１４年目、６年ごとの中期目標期間の第３期の

３年目ということになりますが、年々運営費交付金は確実に削減されており、大学運営も厳しさを増しております。このため、多くの国立大学では、教育研究費の削減や教員の減、採用抑制といった取り組みをしていますが、三重大学においてもこの第３期中に教員を１割ほど減らさざるを得ない状況になっています。

一方で、国立大学には、これまでの教育研究を続けるだけでなく、例えば三重大学であれば、教育研究組織の改編や地域貢献への取り組みといったことが求められており、こうしたことへの対応をしなければ、運営費交付金もただ減少していくだけで、あらたな予算措置の増加が十分されないこととなってしまいます。また予算額も計画を立てて要求するだけでなく、実績等も厳しく評価され、その評価によって予算措置の有無、予算額の増減がなされてしまいますので、いろいろな意味で厳しい時代となっています。

三重大学の課題、取り組みのひとつとしては、地域貢献の観点から、県内の４地域へサテライト拠点を置くこととしており、概算要求もこれらを中心とした中身になっていますが、ある程度の予算措置がされても、大学の取り組みを推進するためには、結局のところ大学の既存予算の中からの持ち出し、人の手当てが必要ということで、ある種のジレンマを抱えており、教育研究といった本来目的の部分の充実をこのような財政状況のなかで如何に図るかといったことも大きな課題としてとらえています。

このような状況ですので、当然、新たな業務は増大・増加し、事務職員の多忙感はかなりあるものと思いますが、業務の改善、効率化、合理化への取り組みもなかなか思うようには進まないのが現実です。

ただ、幸いにも、若手職員は、極めて業務遂行能力や意欲・モチーベーション、創造力が高く、この力をもっと活かすことができれば、業務のあり様も大きく変革できるのではないかと最近感じています。

現在、若手職員の自主的な勉強会というものがありますが、今般、この勉強会において三重大学の事務系職員を念頭に置いた、職員像・職員行動指針が次頁のとおり作成されました。極めて素晴らしい内容のものとなっており、ベテランの職員をも含め、仕事への意欲が増加、元気の出る内容であり、また、ハッとさせられる内容かと思いますので、OB の方々にもぜひご覧いただきたいと思います。

私も退職までに残された年数もあとわずかですが、今ここにあるのは周りの方々に育てていただいた、お世話になったという気持ちを強く持っていますので、中堅職員、若手職員により一層活躍してもらえるような職場作り、業務のあり様を先輩の方々のご指導もいただきながら考えていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、この４月から、これまでの総務・財務担当に加え、新たに基金も担当しております。三重大学の発展のために、財政基盤の安定化といったことも大きな課題となっており、現在、学長をはじめとして大学全体で三重大学振興基金の充実にも取り組んでいるところですので、勝手なお願いではありますが、先輩の方々におかれましても、是非ご理解、ご協力をいただければと存じます。

三重大学の事務職員像

期待には　期待以上で　応えます！　一人ひとりが　翠のエースに！

1 つながりを大切に最速・最高の結果を！
～Face to face communication～

職員像
コミュニケーション能力を向上させ、学生・教員・部署内・外部とコミュニケーションを円滑に図り、**スピード感**を持って業務に取り組むことが出来る職員

行動指針
○**自ら現場に出向いて**相手の状況・環境を素早く察知し、他者と積極的に協働します。
○**スピード感**を持った対応を意識し、**オール三重大学**で最高の結果を導きます。

2 大学を動かす歯車(ギア)になろう
～Gear be ambitious ～

職員像
大学全体の**幅広い知識**と業務の**専門知識**を備えた職員

行動指針
○**前向きな視線**を持ち、自分の業務が大学全体を動かす原動力だと自覚して行動します。
○大学の方針と、私達の役割を理解し、広い視野・関心を持って、**横断的な知識**を常に修得し続けます。

3 見据えよう　仕事の先の　その笑顔
～Big improvement & high return～

職員像
既成概念にとらわれることなく、**積極性・自主性**を持って、業務、そして大学全体の改善提案を行うことが出来る職員

行動指針
○自分の業務は誰のためか、何に繋がっているかの**連続性を意識**して常に**目的と責任感**を持ちます。
○**業務理解**を深め、前例にとらわれず、改善提案を行います。
○**提案が尊重され実現されやすい環境作り**を目指します。

4 飛んできた電波逃さない！
～Keep our antennas up～

職員像
広い視野を持ち、物事に対して、**臨機応変**に色々な角度から考え、対応することが出来る職員

行動指針
○様々な経験を積み、知識を深めます。自らの業務はもちろん、他者の業務にも**アンテナを張り**、より深い理解を得ることを目指します。
○**他者の要望を的確に捉えます**。ゴールを適切に把握し、必要な行動や情報を明確にします。
○**変化を恐れず行動します**。気付いたことを積極的に発信し、業務改善のきっかけ作りをします。

5 愛し愛され三重大学
～We ♡ MIEU～

職員像
相手に対して、**優しく、丁寧**に接し、**気配り**をすることが出来る**ホスピタリティ**のある職員

行動指針
○三重大学を**愛し、愛情**を持って業務に取り組みます。
○全ての人に**笑顔で明るい挨拶**を行います。
○相手の立場に立って、真摯な態度で接し、**愛される職員、愛される大学**を目指します。

6 翠の学び舎　そして世界へ…
～From Green Campus to the world～

職員像
翠あふれる**三重の学び舎**を**愛し**、**環境先進大学のトップランナー**としての自覚を持つことが出来る職員

行動指針
○私たちは、**自分の目で**大学の環境を見て回り、何が必要かを判断し、実行に移します。
○普段の生活から**環境のことを意識**し、自分が環境のために出来ることをしっかりと行います。

これら6つの理想の事務職員像を目指し、
そして一人ひとりが、**三重大学のエース**になれるように、
我々、三重大学事務職員は、常に**全力**を尽くすことを誓います

志登茂会の会長の３年目

志登茂会会長
寺　西　　清

志登茂会会員の皆さんお変わりありませんか。私も変わりなく年齢相応に細々と頑張っています。今年で会長就任３年目を迎えることになりますが、この間、時間だけが無駄に過ぎてしまいこれと言った発展的活動も出来ず申し訳なく思っています。

私事ですが、小生自らが願望を申し出たわけでもないのに先般役所より「本年度より後期高齢者になりますよ！！」との連絡があり、不本意ながら５月にその１年生となり、後期高齢者の仲間入りを果たしました。そしてそれを裏付けるかのように数年前から老人性白内障が進行し止むなく２月に白内障の手術を受けました。また難聴もスムーズに進み補聴器の装着が必要となりその対応をも致しました。加えて近時物忘れが多くなると共に物事が覚えられなくなり、覚えたと思っても数日過ぎると思い出すことのできない事が多々あり、これに追い打ちをかけるかのように近頃意に反し、腱鞘炎、腰痛、頚椎の異常や各所の筋肉痛等体の彼方此方に故障が出るようになりました。これらを総括してみると私も順調に老化が進んでおり「後期高齢者の立派な有資格者なのだナー」と実感しつつ苦笑しています。斯様なことを先輩諸氏に話せば当然だと軽くあしらわれますが、若き会員の皆さんも必ず通らなければならない道ですから今から心身の健康維持に万全を期しておいて下さい。私は元来から体力には自信があったのですが、いま至極残念な思いをしていますので・・・。

本年度の会員相互間の親睦行事は今迄と多少趣を変え１０月２５日に津センターパレスの「オホーツク」での昼食会で親睦を深め、その足で岡三証券のデジタルドームシアター「神楽洞夢」に向かいプラネタニウムで星空の世界を観賞し平素使うことの少ない分野の脳細胞を刺激させて頂きました。

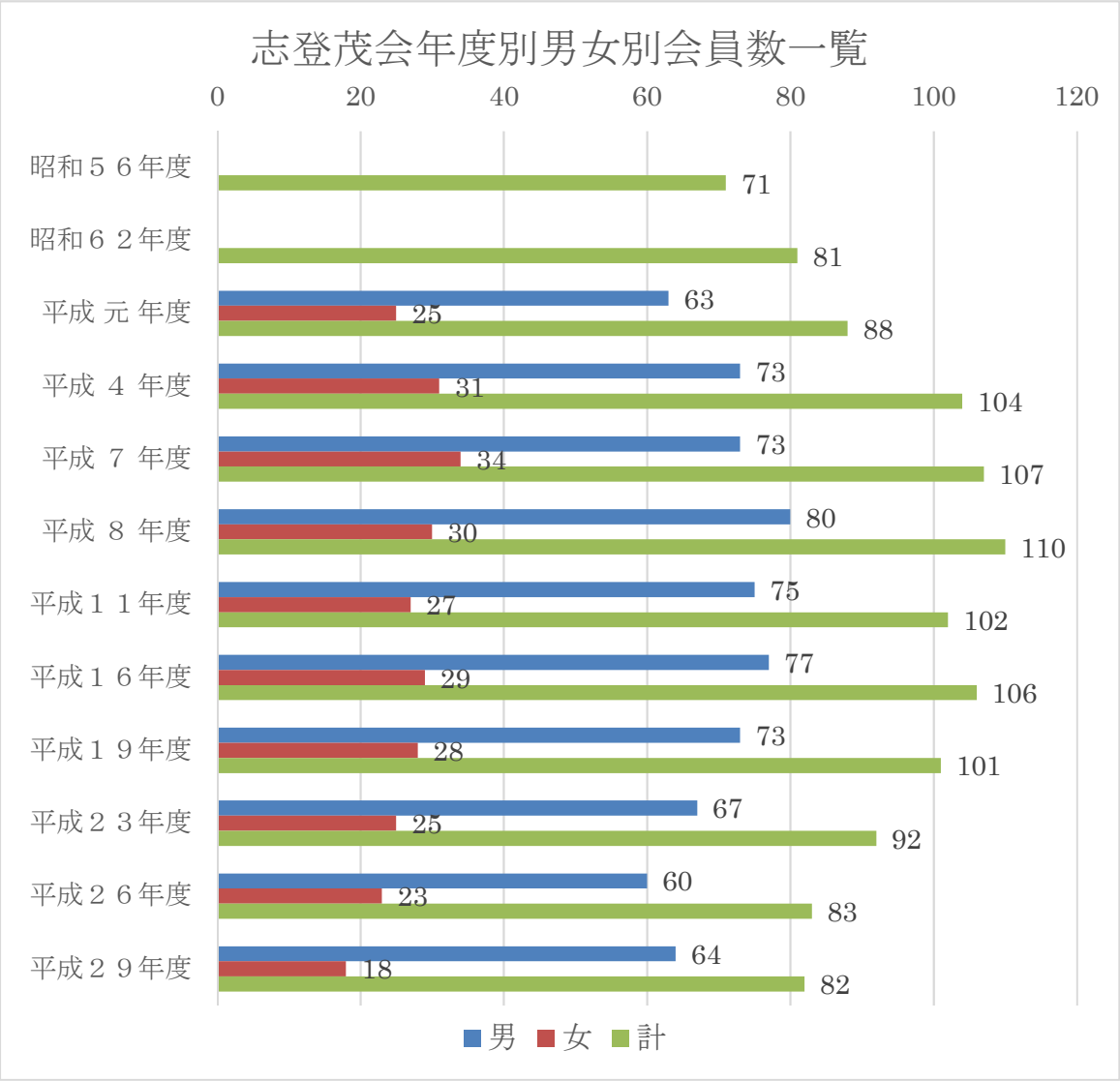
会長就任の当初から気になっていました本会の会員数についてですが、本年度の入会者は事務系職員の退職者１８名(男１２名、女６名)のうち５名(男性のみ)で、退会者が７名(男６名、名女１名)もあり、現在の会員数は８２名(男６４名、女１８名)となっています。会員数の最高時は平成８年度の１１０名(男８０名、女３０名)で振り返ってみれば予想外に減少した現在の会員数を再確認し至極残念に思っています。

現状は退職者が相当数あるのに入会者数が極めて少なく加えて退会者数は増加してきています。その要因は何かそしてそれを乗り越えるのはどうすればよいか何らかの対応が必至となっており、役員の方々には常時いろいろと対応策を検討して頂いておりますが、確たる妙案が浮かばず苦慮しています。会報を通じて申し訳ありませんが『魅力ある会の在り方や今後の会員の確保等』に向け会員の皆さんの中でこれはと思う事が有りましたらどんな些細なことでも結構ですので是非御教示をお願いいたします。

なお、重ねてのお願いで申し訳ありませんが、退職者の中で志登茂会に未加入の親しい知人がお見えでしたら入会を促して頂けると幸甚です。

今回もお願いの会報になってしまい申し訳ありませんが、現状をお含みの程よろしくお願いいたします。

参考資料



近　況　報　告

新入会員
大　西　真　二

志登茂会に入会して早６ヶ月が経ちます。
昭和５０年に教育学部附属小学校に採用となり、４２年間勤めさせてもらいました。
目出度く定年を迎え、再雇用として財務部契約室で働かせてもらっています。
仕事内容は物品の「納入検収」が主です。
各学部（人文学部、教育学部、生物資源学部等）に出向き直接先生等と接して作業していきます。
知らない先生が多くなり、先生の顔を覚えるのにも必死です。
現場へ行き、物品の確認をして検収印と番号を打ちます。
この業務は３箇所（事務局・医学部・工学部）に分かれて行っています。
そして、一番驚いたのが、昔は「負担行為書」と言っていましたが今は「債務計上票」と言い、その書類の点検もしています。（訳もわからず）
定年からの夢として「将棋」と「ゴルフ」をもっと上達しようと思っています。
将棋に関しては伊勢市にある「歩：あゆみ」と言う道場に通っています。
また、ゴルフに関しては初心にかえり、現在、猛特訓中です。
もうひとつの楽しみは旅行です。
四国に始まり関東地区まで満喫しています。

今後は「東北」「北海道」「九州」とマイカーで行こうかと思っています。
もちろん、家内同伴で旅しています。
最後にお願いとなりましたが、今後ともよろしくお願いいたします。

近　況　報　告

新入会員
葛　西　　勇

6月18日の総会に出席をさせていただき、久しぶりにお会いした方々に接し、これからの生活を送るうえでのたくさんのアドバイスや、真似をしてみたいと思うようなお話をうかがうことができました。

4月からは再雇用として附属農場で勤務をしています。静かな事務所の中、そして自然豊かなの中で仕事をすることができますので、健康的な環境で毎日の生活を送っております。

定年退職したと言っても、再雇用になり半年が過ぎただけでは、それまでの生活と大きく変化したことはありませんので、ずっと以前から趣味として釣りをしていますので、そのことを書きたいと思います。

釣りをするようになったのは親父の影響が大きく、5～6歳の頃から親父に連れられ池や川に行っておりまして、そのうち海にも行くようになり、現在まで続いております。今は岸からの釣りで真鯛を主に狙って、一昨年の冬に68㎝を釣ったのが最大で、釣行のたびに小さなものから大きなものまで何らかの獲物を持ち帰ることができます。お土産です。今年は9月に35～45㎝を3匹とまずまずの釣果です。真鯛釣りのシーズンは春の4月～6月と秋から冬の10月～12月ですが、他の時期でもいろいろな獲物が狙えるので、一年中釣りに行かない月はないほどです。まだしばらくは仕事との関係で行けなくなるときはグッと辛抱ですかねぇ。もっと自由になれば遠征して大物を釣りたい夢があります。

持ち帰った獲物は全て自分で捌きます。見よう見まねとネットで勉強という方法で、ギッチョでも上手になりました。出刃包丁も柳葉包丁も左用を揃えてやっております。料理をする手前までして、捌いた後のアラの処理、流し台はにおいも残らないようきれいにして、家内は食べるだけですが、毎回文句を言わないで釣りに行かせてくれるのはこのせいではないでしょうか。

釣りの魅力は、もちろん魚の当たりをとり、そして取り込むまでの感触です。もう一つの魅力はその釣り場にいる人たちとの会話です。いろいろな仕事、経験を持った人たちとの会話では、多くの情報を得ることができますので、釣れなくても退屈しないということです。

もうじき孫といっしょに行けるようになるので、楽しみにしているところです。

近　況　報　告

新入会員
北　山　繁　樹

志登茂会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。この度、志登茂会に入会させて頂くこととなりました。

私は今年３月に定年退職となりましたが、４月から再雇用職員となり、財務部経理チームの副課長兼係長として経理業務に関わっています。

私も５０代後半になった頃から定年後の生き方について少しずつ考えるようになり、漠然とこれまでとは違う第二の人生を送りたいと考えたこともありました。

新しい仕事に就く？趣味に没頭する？海外移住？ボランティア？いくつかの選択肢を考えましたが、これといった具体策もまとまらず、結局は落ち着くところに落ち着くということで現在を過ごしているところです。新しいことを行うにはやはりそれ相応の準備が必要ということであり、五十代後半になってから考え始めるのでは遅いのかも知れません。

現在の職務は経理業務ですので毎日多量の伝票をチェックしたり、パソコン画面の細かい数字を見たりということが中心となり、60 歳を過ぎた者には少々つらいものがありますが、気力と体力の続くところまでということで頑張ろうと思っています。

百年に一度の大改革と言われた国立大学法人化から早くも14年の月日が流れ、現在の日本の大学はかつてない困難な時代にいるという有識者もおり、三重大学においても地域貢献、国際化の推進、高大接続改革（入試改革)、カリキュラムの体系化、ガバナンス強化等、たくさんの課題を抱え大学執行部を始めとする教職員が日々奮闘、四苦八苦している状況です。改革疲れで、肝心の教育、研究機能が低下していると危惧する声も聞かれます。

とはいえ、何時の時代にもその時代なりの難題、課題があり、志のある教職員がその解決に向け四苦八苦していたのであり、現在の苦労がいつか実を結ぶ時が来ると信じることも大事だと思います。

志登茂会の皆様とは、いずれ親睦会等の場でお会いすることと思いますが、なつかしい思い出などを語り合うことが出来ることを楽しみにしております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

近 況 報 告

新入会員

栗　田　敏　幸

本年３月末の定年退職を機に、歴史ある諸先輩方の輪に加えていただくこととなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

顧みますと、昭和５０年４月三重大学に採用されてから４２年間、よくぞ定年まで勤め上げることができたものだと我が身のことながら驚きを感じざるを得ません。
無論、多くの諸先輩方からいただいた暖かくあるいは熱いご指導ご鞭撻のお陰様であることは自明の理であります。改めまして厚く御礼申し上げます。
この間には、時と場所を問わずに幾多の難解なミッションを授かり、悩み悪戦苦闘した日々、月の超過勤務が２００時間を超えた附属病院の電子計算機システムの導入、退職願を懐に会計検査院調査官と対峙したこと等々、数え切れないほど多くの思い出という財産も得ることができました。

４月からは、再雇用職員として附属病院の「臨床研修･キャリア支援センター」で初期研修医関係の業務に就いております。２０余年の病院での業務経験が活かせる部分は多くありませんが、幸い先生方を始め院内スタッフの中に私の顔と名前を認知していただいている方々が少なからずおられますので、教えを請い学びながら、慌てずに一歩ずつ進めているところです。

プライベートでは、母親の介護(主に身の回りの世話が中心ですが)等も有り、自由な時間をつくることはなかなか難しい状況です。既に親睦行事等のご案内をいただいておりますが、残念ながら参加できない理由の一つでもあります。いずれ仕事がスムーズに進むようになれば、私自身に精神的･体力的ゆとりができることと思います。その節には皆様のお顔を拝見に伺いたいと思っております。
実は、１０年ほど前から定年後にやりたいと考えていた事が幾つかあります。と言いましても一度には無理ですから、まずは体が不自由無く動くうちに現役時代には難しかった長期休暇を取り、若い頃日本中を駆け回った様にフラッと放浪の旅に出ようと企んでおります。果たして夢は叶うのでしょうか・・・。

志登茂会に入会して

新入会員
東　川　正　朗

本年３月に定年退職し、この度志登茂会に入会させていただきました。
今後共、よろしくお願いいたします。

私は、昭和５４年４月に三重大学工学部にお世話になってから、農学部、経理部、大学附属病院、人文学部の会計系、鳥羽商船高等専門学校、三重大学大学院地域イノベーション学研究科の庶務系、最後に学務部（就職支援チーム）の学生系で３８年間お世話になりました。

大学は、定年退職者に対して再雇用の制度ができ、現在では６５歳まで働くことができるようになりました。私は、長年の鳥羽市からの遠距離通勤のため、今後の体調管理、第二の人生のために再雇用はせずに定年退職をもって、第一線を退きました。

退職後は、町内会活動を中心に現役の時にはできなかった旅行などを楽しんでいます。また、現役時代にお世話になりました先輩方と食事会や旅行をする機会があり、思い出話なども楽しんでいます。

６月に開催されました志登茂会総会に参加させていただき、先輩方のお顔を拝見・お話できたことは、私にとって思い出と共にこれからの第二の人生の糧となる財産を得ることができたと実感しました。

最近、再雇用制度ができたこと等により、志登茂会に入会されない先輩方が増えてきているとお聞きしています。

先日も入会されてない先輩、現役とお会いする機会があり、お酒を飲みながらお話をしました。現役からは志登茂会を始め、先輩方ともっと交流を持ちたいとの話があり盛り上がりました。

今後、大学と志登茂会や退職者との交流が持つことができれば、第二の人生がさらに楽しくなるのではと思っています。
今後共、よろしくお願いいたします。

平成２９年度志登茂会総会・懇親会について（報告）

６月１８日（日）津市島崎町にある「ベルセ　島崎」において、２９年度志登茂会総会・懇親会を行いました。当日は、２８名の会員の方々のご参加をいただき、盛会裏に終えることができました。誠にありがとうございました。

つきましては、総会で審議の後承認をいただきました案件等について、下記のとおり報告させていただきます。

平成２９年度志登茂会総会・懇親会

総　会　式　次　第

１．開会の辞
２．新入会員（退会）の紹介
３．会長挨拶
４．議長選出
５．議案の審議
　（１）平成２８年度経過報告　　（資料　１）
　（２）平成２８年度決算報告　　（資料　２）
　（３）平成２８年度監査報告　　（資料　３）
　（４）平成２９年度予算　　（資料　４）
　（５）役員改選　　（資料　５）
　（６）会報「第５２号」の発行について
　（７）その他
６．その他
７．閉会の辞

資料１

経過報告

平成２８年　４月１９日	会計監査の実施
	第１回役員会（平成２８年度事業計画、総会等）
平成２８年　６月１４日	第２回役員会（総会準備等）
平成２８年　６月２６日	総会及び懇親会開催
	於：ベルセ　島崎（２８名出席）
平成２８年　７月１９日	第３回役員会（行事計画の検討）
平成２８年　８月２２日	第４回役員会（行事の決定、会報発行準備）
平成２８年１０月１４日	第５回役員会（行事の実施準備）
平成２８年１０月２７日	志登茂会親睦行事（２０名参加）
	附属農場みかん狩りと「朝津味」見学
平成２８年１１月２６日	医学部公開講座受講（１０名参加）
	講義１「めまいの話」
	講義２「健康寿命を延ばすための食事と運動について」
平成２８年１２月　５日	第６回役員会（会報５１号の校正）
平成２８年１２月２０日	会報５１号の発行
平成２９年　２月１６日	第７回役員会（２９年度総会、事業計画等）

☆新入会者

葛　西　　勇　氏
東　川　正　朗　氏
栗　田　敏　幸　氏
北　山　繁　樹　氏
大　西　真　二　氏

☆退会者

伊　藤　嘉　彦　氏	平成２８年１０月　３日死亡
中　野　　博　氏	平成２８年１０月　２日死亡
高　倉　良　介　氏	平成２９年　３月３１日付
倉　田　耕　治　氏	平成２９年　３月３１日付
沼　田　久　三　氏	平成２９年　３月３１日付
立　道　喜美子　氏	平成２９年　３月３１日付
垣　内　光　治　氏	平成２９年　４月２３日死亡

資料２

平成２８年度　志登茂会収支決算書

【収入の部】　（単価　円）

項　　目	予　算　額	決　算　額	備　　考
翌年度からの繰越	264,674	264,674	
会　　費	158,000	144,000	
預　金　利　息	56	28	
雑　収　入	0	1,080	ヒーサーの森　入場料の割引
計	422,730	409,782	

【支出の部】　（単価　円）

項　　目	予　算　額	決　算　額	備　　考
印　刷　費	30,000	25,412	会報第51号（150部）印字サービス
会　議　費	12,000	12,530	監事監査・役員会　お茶・昼食代
通　信　費	36,500	35,535	会報発送料、総会案内はがき、振込手数料
事　務　費	10,000	756	宛名ラベル
行事等補助費	31,000	29,251	総会（懇親会補助）
予　備　費	50,000	0	
小　計	169,500	103,484	
翌年度へ繰越	253,230	306,298	
計	422,730	409,782	

翌年度へ繰越　　３０６，２９８　円

資料３

監　査　報　告　書

平成２９年４月１８日

志登茂会
会　長　寺　西　清　　殿

監　事　寺　嶋　資　文　印
監　事　中　西　和　康　印

志登茂会会則第5条第5項により、平成28年度の収支決算その他帳票類を監査した結果、すべて適正であったことを認めます。

資料４

平成２９年度　志登茂会収支予算書

【収入の部】　（単価　円）

項　　目	平成２９年度 予　算　額	平成２８年度 決　算　額	増減額	備　　考
翌年度からの繰越	306,298	264,674	41,624	
会　　費	152,000	144,000	8,000	76人分
預金利息	60	28	32	
雑収入	0	1,080	△ 1,080	
計	458,358	409,782	48,576	

【支出の部】　（単価　円）

項　　目	平成２９年度 予　算　額	平成２８年度 決　算　額	増減額	備　　考
印刷費	30,000	25,412	4,588	会報第52号印刷等
会議費	16,000	12,530	3,470	会議等お茶代・昼食代
通信費	40,000	35,535	4,465	総会案内 会報等発送 振込手数料
事務費	10,000	756	9,244	封筒等
行事等補助費	30,000	29,251	749	総会懇親会補助
予備費	30,000	0	30,000	
小　計	156,000	103,484	52,516	
翌年度へ繰越	302,358	306,298	△ 3,940	
計	458,358	409,782	48,576	

資料５

役員の改選任

志登茂会役員の任期は、２年とする。但し再任は妨げない。（会則第７条）

役員一覧　　平成２９年６月１８日総会決定

役員名	氏　　名	任　　期
会　長	寺　西　　清	平成３１年３月３１日（再任）
副会長	加　藤　孝　生	平成３１年３月３１日（再任）
同	服　部　美佐子	平成３１年３月３１日（再任）
幹　事	北　川　昭　義	平成３１年３月３１日（再任）
同	長　嶋　重　次	平成３１年３月３１日（再任）
同	市　川　知惠子	平成３１年３月３１日（再任）
同	中　西　治　幸	平成３０年３月３１日
監　事	寺　嶋　資　文	平成３０年３月３１日
同	中　西　和　康	平成３１年３月３１日（再任）
事務局	竹　谷　吉　弘	

なお、任期の解釈は、所定（上記）の任期満了後も、次期総会までは継続することを平成１３年度の総会で確認した。

志 登 茂 会 会 則

第１条　この会は、志登茂会と称し、事務所を三重大学内（津市栗真町屋町１５７７番地）におく。

第２条　この会は、会員相互の親睦を密にし、おのおのの心身の健康の増進を図るとともに、教養をたかめ、かつ、三重大学の発展のため協力することを目的とする。

第３条　前条の目的を達成するため、次のことを行う。

一　あらゆる方法、機会をとらえて、会員相互の親睦を量ること。

二　互に励まし、助言し、心身の健康の保持増進に努め、教養をたかめること。

三　三重大学の発展のため、有形無形の協力をすること。

四　会報を発行すること。

五　その他前条の目的を達成するため、必要なこと。

第４条　会員は、三重大学事務系職員であった者で、この会の目的に賛同する者とする。

第５条　この会に、次の役員をおく。

一　会　長　　１　名

二　副会長　　２　名

三　幹　事　　若干名

四　監　事　　２　名

２　会長は、この会を代表し、会務を統轄する。

３　副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、これに代わる。

４　幹事は、会長の命を受け、常務を処理する。

５　監事は、会計を監査する。

第６条　役員は、会員の推薦により決める。

第７条　役員の任期は、２年とする。但し、再任を妨げない。

第８条　この会は、年一回定期総会及び懇親会を開くものとする。但し、必要に応じ臨時に開くことができる。

第９条　この会計は、会費及び寄付金その他によってまかなう。

２　会費は、一世帯あたり年額２,０００円とする。但し、必要に応じ、臨時に徴収することができる。

第１０条　この会の会計年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月３１日までとする。

第１１条　この会則の改廃は、総会の議を経なければならない。

附　則

１　この会則の一部改正は、平成８年４月１日から施行する。

附　則

１　この会則の一部改正は、平成１５年４月１日から施行する。

平成２９年度　志登茂会総会、懇親会（29. 6.18（日）　於：ベルセ島崎）

長嶋重次　織田　弘
中西治幸
渡辺一博　原林幸一
中西和康　遠山雅三
菅野　薫
井上　務　西口章一
村岸萬喜男　藤森迪哉
東川正朗
浦田孝一　寺西　清
河合勝巳
瀬古一巳　勝谷　武
諸岡　眞
村山　充　松田隆作
市川知惠子　金森　章
葛西　勇
服部美佐子　黒川清司
鈴木信幸
加藤孝生

懇親会風景

昼食会と「神楽洞夢」でのプラネタリウム鑑賞（報告）

平成２９年１０月２５日（水)、平成２９年度の志登茂会の親睦交流行事として、津センターパレス４階「オホーツク」での昼食会と「神楽洞夢」（岡三証券津ビル）でのプラネタリウム鑑賞会を実施しました。

今回は「神楽洞夢」の観覧席に十分な余裕が有りましたので会員外の家族等の方々の参加を可能にするとの呼びかけをしたところ、看護部の退職者６名の参加申し込みが有り、参加予定者は２７名でしたが、病気等で２名が欠席され２５名の参加者となりました。

午前１１時３０分に岡三神楽洞夢専用駐車場に集合し、昼食会場の津センターパレス４階の「オホーツク」へ歩いて移動しました。

「オホーツク」での昼食会は、今迄の会員同士のみの会食ではなく、会員外の方６名が参加されたことにより、昔の懐かしい仲間と再会し、昔話に華を咲かせる等、華やいだ雰囲気の中、会話が盛り上がり楽しい時を過ごすことが出来ました。

昼食後、岡三デジタルドームシアター「神楽洞夢」へ移動し、プラネタリウムを鑑賞しました。

観賞の前半は、スペースエンジンＵＮＩＶＩＥＷを使って、神楽洞夢の説明者（三重大学教育学卒業生）から津の星空の案内がされ、久しく津の夜空の再確認が出来ました。

後半は、「スターオブファラオ」とタイトルされたもので、紀元前３０００年頃、ナイル川の流域に栄えたエジプト文明の古代エジプトのファラオ（王）は、死後の世界で神々と一緒に星空を旅すると信じられており、そのファラオが見ていた夜空はどんなだったろうかと推測しながらプラネタリウムで星空を鑑賞しました。

合せて約１時間星空の世界をゆったりと楽しむことが出来ました。

今回は、今までと多少趣を変えた行事でしたが、会員外の看護部のＯＢが参加されたことにより若干雰囲気が変わり、親睦がより一層深まったのではないかと思いました。

今回の開催方法を今後の実施に生かせないかナーとの思いもあります。

お世話をいただきました岡三神楽洞夢関係者の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

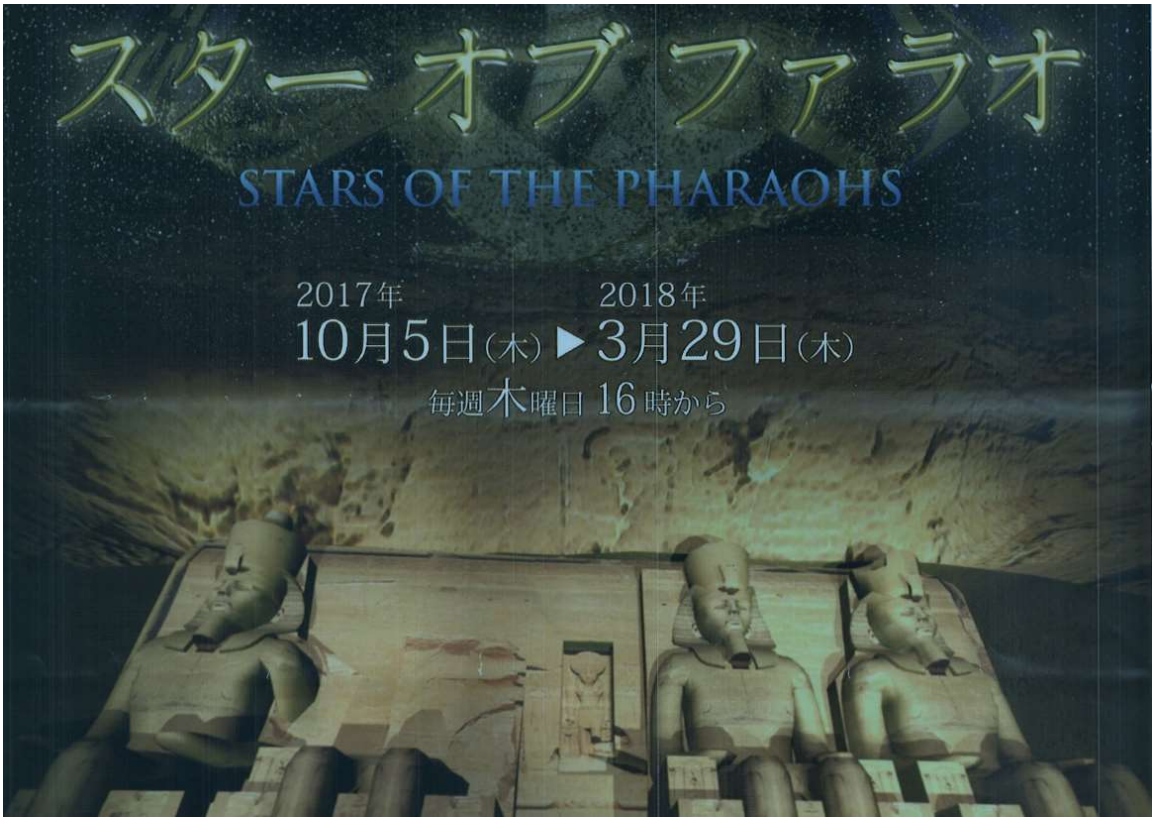
（加藤孝生　記）

☆ 会員の皆様へ

今後の親睦会交流行事として、何か良い企画があれば、是非、志登茂会事務局にご意見をお寄せ下さい。

昼食会（センタパレス「オホーツク」）

岡三証券津ビル「神楽洞夢」においてプラネタリウム鑑賞



事　務　連　絡

本年も前年通り、三翠会館内事務室に職員が常駐して、「志登茂会」のお世話をしておりますので、会費納入方法、その他のお問合せ・連絡については、下記までお願いいたします。

〒514-8507　津市栗真町屋町 1577
三重大学生物資源学部三翠会館内
電話：０５９－２３１－９６７７
Mail：dosokaijimu@ab.mie-u.ac.jp

編　集　後　記

表紙の写真は、平成２９年５月に上浜キャンパスをドローンにより撮影したものです。

特別寄稿として尾藤広幸事務局長から「三重大学雑感・今後の発展に向けて」と題し執筆をしていただきました。今まで勤務された文部科学省や各大学での思い出、法人化後厳しくなった国立大学の状況、三重大学における課題及び取り組み内容、特に若手職員による三重大学の事務職員像・職員行動指針が作成されたこと等多面に亘る説明があり、三重大学の状況等を知る良き機会となり有難く感謝しています。

また、新入会員５名の方々から、「近況報告等」の投稿をいただきました。

投稿いただきました皆様、写真撮影担当の長嶋幹事に心からお礼申し上げます。

本年度の志登茂会の親睦交流行事は、いつもとは多少趣を変え、津センターパレス４階の「オホーツク」での昼食会と岡三証券津ビルの「神楽洞夢」でのプラネタリウム鑑賞会を実施し、それに会員外の看護部ＯＢの方々の参加もあり、幅広く親睦が深まりました。

会報発行は、例年通り役員一同の「手作り」ですが、今回も予算の都合上、前号に続きまして白黒写真版になりましたが、ご了承ください。

今後の投稿につきましても、幅広く会員の皆様からいただきたいと思っておりますので、その節にはよろしくお願いします。

最後に、会員の皆様方の益々のご健康をお祈りいたします。

（編集者一同）